

わたしたちの町
人 口(男)……4,524
(女)……4,870
計……9,394
月中の転入……16
転出……23
世 帯 数…2,310世帯
(12月末日 住民登録人口調べ)

広報

あいかわ

昭和60年1月25日 第321号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月20日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'85/1月

321号

合川町消防団



昭和60年1月25日 第321号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

まといの心意気晴れやかに 寒風の中、新年の行進

合川町消防団の出初式は五日、農村環境改善センターで開かれました。式典に先立つて、駅前地内を行進。広域消防合川分署前に集合した団員が、合川営林署職員らの拍手を受けて整然とした行進を披露しました。おりから降り続く雪の中、役場前で、高橋与一郎団長、町長らが観閲。団旗とまといを先頭に力強い行進を行いました。さらに日常活動を」とあいさつが続きました。

功労団員の表彰、辞令の交付と新年らしい緊張感あふれる式典風景。火災予防優良団体では雪田子ども会、道城子ども会、李岱子ども会が表彰されました。

出初式



百六十二名が新成人に 燃えろ青春 二十才の誓い

はたち

テレビカメラのライトをまぶしそうに、緊張の表情で新成人の皆さん。

新成人になられた百六十三名のうち百二十四名が出席。一人ひとりの名前を呼びあげ、町長から成人証書を贈りました。町長は「経済的な豊かさの中で育った世代が、厳しい時代への直面を乗りこえて、良き人生をおくつて下さい」の励ましのあいさつ。中学時代の恩師や青年会長など来賓の方々から「一日一日を精一杯燃えて」と、誇りと責任を持つて、「何か恩返しする心がけを」とお祝いの言葉がありました。

成人を代表して加藤裕久さん(鎌沢)が「難関に負けず、社会人としての責任を果たします」と誓いの言葉。記念作文の入選者が発表を行いました。「いろいろな人と接する中で、私の心の向上を。」松井千秋さん(福田)「今までの多くの思い出これから的人生に役立てたい。」佐藤真紀子さん(桃栄)「自分の意志を持ち、他人の意見も聞けるように。」福岡久美子さん(三里)。それぞれの決意に大きな拍手が贈られていました。

県立農大学校の中国研修生で成人式を迎えた江柄坤(こうへいこん)さんが「青年は午前八時九時の太陽だ」と題して意見発表。成人の喜びの中に国づ

新成人になられた百六十三名のうち百二十四名が出席。一人ひとりの名前を呼びあげ、町長から成人証書を贈りました。町長は「経済的な豊かさの中で育った世代が、厳しい時代への直面を乗りこえて、良き人生をおくつて下さい」の励ましのあいさつ。中学時代の恩師や青年会長など来賓の方々から「一日一日を精一杯燃えて」と、誇りと責任を持つて、「何か恩返しする心がけを」とお祝いの言葉がありました。

新成人になられた百六十三名のうち百二十四名が出席。一人ひとりの名前を呼びあげ、町長から成人証書を贈りました。町長は「経済的な豊かさの中で育った世代が、厳しい時代への直面を乗りこえて、良き人生をおくつて下さい」の励ましのあいさつ。中学時代の恩師や青年会長など来賓の方々から「一日一日を精一杯燃えて」と、誇りと責任を持つて、「何か恩返しする心がけを」とお祝いの言葉がありました。

開設二十周年

大野台の里では

大野台の里成人式は十二日、全入所者と父兄・職員のお祝いの中、施設内訓練棟で開かれました。八名の成人者が晴れ着姿で並び、町民歌と大野台の里賛歌を会場全員で合唱。町長から一人ひとりに成人証書を贈りました。

大野台の里は昭和四十年十月に愛生園が開園。今年は二十周年にあたります。木村士郎管理者が「八名の成人と、里の成

冬を安全にすごしましよう

▽道路に雪を捨てないでください。交通事故の原因にもなります。
▽たこあげ、雪おろしは電線に気をつけましょう。
▽お年寄りの一人歩きはできるだけ避けましょう。

▽お年寄りの一人歩きはできるだけ避けましょう。
▽お年寄りの一人歩きはできるだけ避けましょう。

町長日記から

中国、韓国の青年を中心とした新しい国づくりへの批判と、

世界的なエコノミ

ック・アニマルへの批判と、

から、二十一世紀の日本

（義）

懐炉

懐炉はスキーや釣りに行く若人たちの「スポーツ用品」として人気があり、さらにスタイルを気にして薄着をする女性も、秘そかに愛用している人がふえていると言います。このような「人気」を集めているのは使い捨て懐炉。昭和五十八年度中に全国で消費された使い捨て懐炉は約三億個と言いますから、日常生活用品の一つになりつつあるようです。使い捨て懐炉の内容は鉄粉、水、塩、活性炭、保水剤などを混ぜたもので、これが空気の中の酸素にふれると発熱する仕組みになっています。島清造氏。医学博士の立場から記念講演は秋田大学教授、対

川井地内の宅地造成によつて二、三男も町内に住めるようになるものと期待しています。それが三里に、「担い手センター」ができたこともあって地域の若い人たちのまとまりがたいたいへんになりました。バレー、ボルダリング大会でも若妻の人たちが自主的にがんばってくれたり、これも人がふえたおかげです。



新春 座談会

うし年・壯年

工藤(文)他の町で選挙演説を聞いていたら、「合川町のようないいかな」と力説していました。改めて、良い町に住んでいたんだなあと見直しました。

伊藤(文)今年は孫ができる予定で、二番目も成人式を迎えると、心の健康、体の健康に気を配っています。

伊藤(文)子ども成長に夢中で、仕事仕事の毎日でしたが、そろそろ趣味を大切にしたり、自分の夢を見つけていく年代だと思います。しっかりと町を見つめ、いろいろな分野を組み合わせて町の発展をめざします。皆さんのが生きています。がんばってください。

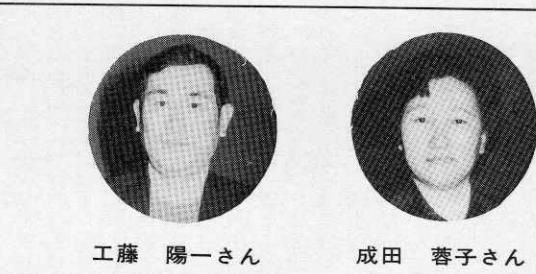
工藤(文)今年は孫ができる予定で、二番目も成人式を迎えると、心の健康、体の健康に気を配っています。

伊藤(文)今年は孫ができる予定で、二番目も成人式を迎えると、心の健康、体の健康に気を配っています。

成田(文)まず健康に一年をすごすことです。それと若い気持ちでがんばることです。

成田(文)昭和六十年代の十年間は大きく変化する時代になると 思います。しっかりと町を見つめ、いろいろな分野を組み合わせて町の発展をめざします。皆さんの年代から、いわば人生の完成期です。がんばってください。

秋田県では屋外広告業を営もうとする人が必要な講習会を三月下旬に開きます。受講希望者は北秋田土木事務所(鷹巣町・電六二二二一)に連絡ください。



成田 萌子さん

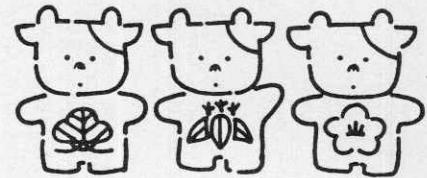


福田 一衛さん

司会 教育長
木村 仁兵衛

变化する時代に
正しい視点で
祈りつつ
教育長
町長

モウ進



お知らせコーナー

町のことよみ

年金減額されます
繰り上げ請求

の誤りです。おわびして訂正します。

今月の納期
1月
県町民税
国民健康保険税

二月は寒さが最も厳しく、暖房用などのエネルギーが多く必要とされるため、毎年「省エネルギー月間」とされています。
暖房器具は、部屋の大きさに合ったものを使っています。
ストーブは、燃焼部分や反射板の手入れをよくしています。
ドアや窓から、すきま風が入ってしまうことがあります。太陽が出て来ます。
カーテンやカーペットを上手に利用して、熱を逃がさないようにしています。
冬でも太陽が当ればとても暖かになります。太陽が出て来ます。
このほか、暖房器具の置き場所を工夫したり、断熱材の利用を検討するなど、「住まいの暖房の工夫」を家族や職場で話し合ってみてはいかがでしょうか。

省エネルギー
月間です

伊藤(文)今年こそ、今年こそと毎年、考えてなかなか実現できないのですが、みんなの協力で目標を達成したいと思います。

伊藤(文)今年こそ、今年こそと毎年、考えてなかなか実現できないのですが、みんなの協力で目標を達成したいと思います。

消防器の規格が変わりました
これまで市販されていた消防器の「安全栓」を操作する人の利便を図るため、すべて「上抜き」に統一されました。新規格の消防器は「絵文字」で使用方法が表示されています。

悪質な訪問販売に注意を
設置義務のない一般家庭に旧規格品の販売が予想されますので注意してください。不審に思ったら消防署へ。

伊藤(文)三木田の堤のあたりは私たちの思い出の場所で、すばらしいところです。ここを公園にしたら、すばらしいだろうと努力をお願いします。それと

伊藤(文)雪道になると特に強くなるのですが、増沢バイパスなどを、町の道路整備を進めてほしいものです。伊勢(笑)誘ふことを祈っています。

伊藤(文)とにかく仕事が増えることを祈っています。(笑)

伊藤(文)企業の建設や公共事業など町の努力をお願いします。それと

小笠原(文)雪道になると特に強く感じるのですが、増沢バイパスなどを、町の道路整備を進めてほしいものです。

伊藤(文)今年の町づくりの夢を語ってください。

福田(文)一つは冬にできる農業はないかなとさがしています。

伊藤(文)馬鹿ばかりやつていると馬鹿にならなくて(笑)。地体がなまつてしまふ。(笑)

福田(文)自然水を利用した上下水道を考えています。知恵を出し合って、自然を利用してすばらしい地域づくりを夢見ています。

伊藤(文)とにかく仕事が増えることを祈っています。(笑)

伊藤(文)私たちの思い出の場所で、すばらしいところです。ここを公園にしたら、すばらしいだろうと努力をお願いします。それと

伊藤(文)木製品製造等三千五百四円

伊藤(文)秋田県内の産業別最低賃金が

伊藤(文)一月中に改正されました。

伊藤(文)秋田県の定員六十名は、四十五名

伊藤(文)秋田県の定員四十

伊藤(文)秋田県の定員四十五名

伊藤(文)秋田県の定員四十

